

[説明資料(提出ファイル)] 発明・工夫作品コンテスト 製作の動機または目的, 利用方法, 作品自体やその製作過程で工夫したことを, 文章, 写真, 図などで説明。この用紙1枚に記入し, PDFに変換した後, web提出フォームにて提出する。

個人・グループ名	西村 耀	大学名	愛知教育大学
作品名	廃材を利用したテーブル作成		人数 1名

1. 目的

私の実家のリビングにはテーブルがなく、軽食をとったり、マグカップを置いたりする場所がない。そこで3, 4人が囲らんでもできるようなサイズのテーブルを製作した。

2. 作品について

今までの授業では、機械を使わないよう作成していたが、今回はできるだけ機械を使うことを心がけた。

使った機械：丸のこ盤、かんな盤、昇降盤、卓上ボール盤

3. 工夫点

- ・リモコンやティッシュペーパーを置くことができるような中板をつけた。
- ・軽食をとる時に使いたいため、濡れても大丈夫なようにニス塗り、耐水性に気をつけた。
- ・からだの大きな人は中板があると足が入らないかもしれないため、中板は取り外し可能な構造にした。
- ・大学の木材実習室にある廃材を利用したため、木材が曲がっていた。そこで、不要な部分は除き、すべての部品の角が直角になるように加工した。
- ・廃材の中に、ヒノキの香りがする木材があったため、それを利用し、耐久性や耐水性、加工のしやすさを取り込んだ。
- ・天板と中板はヒノキの廃材がなかったため、ベニヤで代用し、ニスをしっかり塗った。

4. 改善点

- ・ニスを塗ってから3日たってもニスの匂いがとれなかったため、もっと乾燥させるべきであった。
- ・脚にキャスターがついていた方が便利であった。
- ・天板のベニヤ板が薄かったため、釘を見えないように打つことが難しく、上から見える位置に打ってしまった。

